

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	独語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical German		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	湯川 敬弘		
居室	東1-607		

公開E-Mail	授業関連Webページ
t-yukawa@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：インターネットの時代の現在、第二外国語を読むことの必要性和重要性は以前よりましている。どのようなドイツ語でも、基本的なドイツ語の文法思考が身に付いていれば、内容の知識の多少に関わらず正しく読み、理解できる。</p> <p>同時に、EUの中心的国家としてドイツの重要性はますます高まるであろうが、文化的特異性を特に日本との比較で知っておくこともまた重要である。</p> <p>(b) 達成目標：どのような表現形式のドイツ語でも基本的に正しく読める。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
独語第一、第二、。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
独語演習

【教科書等】
教科書：プリント
参考書：今まで使ってきた文法書

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

前学期までで、基本的なドイツ語文法の学習を終えたところなので、この授業ではその応用を兼ねて、いろいろな種類のドイツ語文に触れる。

(b) 授業の進め方：

言葉の学習は最初は何よりもいろんな種類の文章に接することが必要である。また、正しいドイツ語の発音ができることは言うまでもなく最重要課題である。この両面を徹底的に訓練する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法： 成績評価 演習・課題 80%
小試験 20%

(b) 評価基準：以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。
基本的に毎回出席して、課題を果たしていること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールで事前に連絡すること。

【学生へのメッセージ】

大学は教えてもらうところではなく、自分で学ぶところ。必修科目は学生諸君への最低限の要求です。自分で自分に課題を出して勉強しようとするれば、いくらでも世界は開けています。先生はその手段です。また、質問することができるということは能力です。

【その他】

なし